

資料室 ニュース Vol. 1

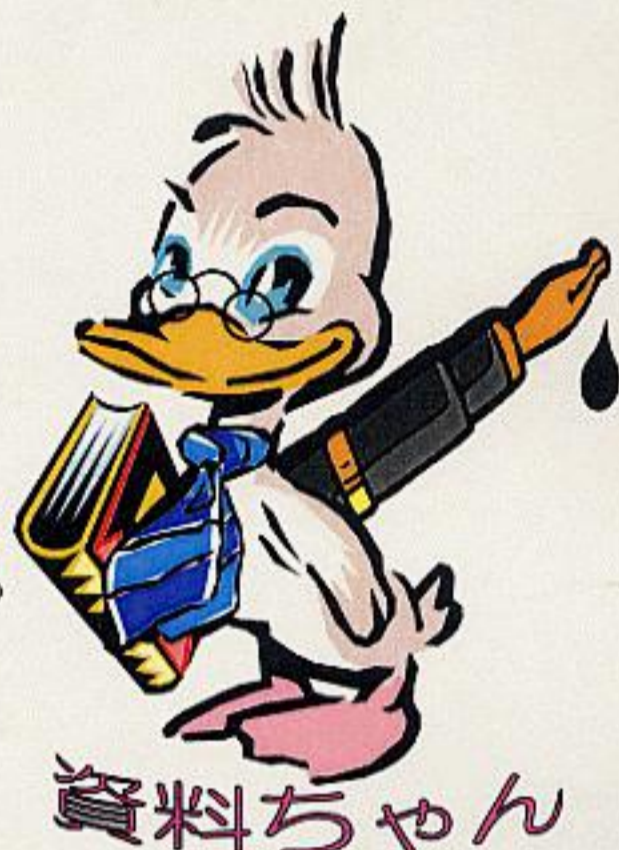
2002年9月27日発行

新キャラクター誕生！！

震災資料に詳しい資料ちゃん！
資料のことなら何でも聞いてね。

資料ちゃんからのお知らせ

資料室では新しい図書を購入しました！
今後も資料はどんどん増えて行くので、
是非、無料空間資料室へ足を運んでね！



資料ちゃん

新刊図書

題名	著者	出版社
阪神・淡路大震災-行政の証言そして市民-	依田 博他	くんぶる
The Times Atlas of the World.(Reference Edition) '02.(タイムズ世界地図 レファレンス版)		HarperCollins
日本海東縁の活断層と地震テクトニクス	大竹政和編	東京大学出版会
地震学 下巻 震源	T.レイ	古今書院
地震学 上巻 地球内部	T.レイ	古今書院
防災への道しるべ揺れる大地	清野政明	クライム気象図書出版部
防災六法 平成14年版	防災行政研究会編	ぎょうせい
防災の社会心理学	林理	川島書店
新日本の災害対策	災害対策制度研究会編著	ぎょうせい
あなたの町が危ない! : いざという時の防災計画	山田雅夫	山海堂
阪神淡路大震災被災者のこころをきく 西宮の被災者生活調査から	金持伸子	せせらぎ出版
住民参加でつくる地域の計画・まちづくり	日本まちづくり協会編	技術書院
日本型都市計画とはなにか	西山康雄	学芸出版社
心の断層 : 阪神・淡路大震災の内面をたずねて	藤本幸也	みすず書房
地震予知はできる	上田誠也	岩波科学ライブラリー
活断層詳細デジタルマップ	中田高 今泉俊文	東京大学出版会
地震・津波・火山活動から命を守ろう(安全な学校生活を考える本7)	矢萩 恵一	小峰書店
濃尾地震と根尾谷断層帯	村松郁栄	古今書院
構造物の地震リスクマネジメント	星谷勝、中村孝明	山海堂
建築の設計と責任なぜ今も地震で建物が壊れるのか	多田英之	岩波書店
大地震今なら間に合う簡単予知トレーニング	戴峰	メモタル出版
〈完全図解〉大地震で壊れる町、壊れない町全国「被害予測版!」		宝島社
私の考えるクルマ社会 未来を語る18のヒント	八十島義之助ほか	交通工学研究会
情報化と社会心理	林茂樹編著	中央大学出版部
地震と防災 糸魚川-静岡構造線	塚原弘明編著	信濃毎日新聞社
地震だ!(地球たんけんたい4)	フランクリン・M.プランリー文 リチャード・ローゼンブラム絵	リブリオ出版



震災とともに

阪神・淡路大震災の教訓を後世に伝えていくため、人と防災未来センターでは（財）21世紀ひようご創造協会【平成7年10月から平成10年3月まで】、（財）阪神・淡路大震災記念協会【平成10年4月から平成13年3月まで】の事業を引き継ぎ、震災資料の収集を行っています。次号からはセンターの展示部門でまだ展示されていない資料の紹介も行っていくつもりです。

今号は、これまでの資料収集に携わり、現在は人と防災未来センターで展示解説のボランティアをいただいている松笠さんに、資料収集にまつわるお話を聞いてみました！

松笠 誠一

私達の幸せな毎日に突然に襲った阪神大震災は、県民の多くの人々に多大の被害を与え、尊い人命と膨大な資産の損失を招き、精神的にも肉体的にも大きな打撃を被る事となった。

私が当時勤務していた事務所も上層階の大破壊により天井が破れ、室内は事務用品の散乱と階上からの漏水により水浸しとなり使用不可能で、重要物品と重要書類のみを持ち出し、仮事務所を神戸駅の近くに移し再開した。縁があって同年4月より阪神・淡路大震災総合相談センターでの相談業務と仮設住宅対策を担当することになったが、震災直後の混乱から来る不安、人間関係、不動産変動、病気等及び長引く避難所生活・仮設住宅の不満、震災復興住宅入居等において歳月と共に風当たりも強くなり苦勞と忍耐の毎日であった。引き続き阪神・淡路大震災記念協会でのメモリアルセンター（現、人と防災未来センター）に展示する震災資料収集に従事し、後年に残す貴重な、掛け替えのない資料と震災体験談等の提供をお願いしたところ、県民の多くが涙を流しながら当時思いだし苦勞を身に滲ませ、語りながら多量に提供して頂いた事が印象深い。しかし、中には今更当時の悲しみ、苦勞を甦らすのかと罵倒されたり、時期遅く資料等が既に廃棄処分されていたのには悲しい思いをしたりもしたが、他の調査員が伺っても提供されなかった資料も、貴方なれば信頼できるとして貴重な資料を多く提供して頂いたこと大変に嬉しかったし、記念協会にしても大成果でもあったと思う。資料提供者の皆さんには心から感謝すると共に、収集された資料による災害研究の成果を期待し、私達にはこれらの資料を大切に保管し、後生に残し、語り継がれて行く様にする義務があると思っている。

こんな事も有ってか、7年間に渡り震災と共に公私で復興に係わってきた震災体験を基にこれを後生に永く語り継ぐべきとして現在も、人と防災未来センターの展示解説員として、来館者に展示資料の解説と私自身の体験を織り混ぜて説明する事により、多くの人々に喜ばれ今後の防災への参考になる感謝され、再度来館するのでもっと詳しく情報が聞きたいと言って下さる方々も多く見受けられ事により、生きがいを感じ震災とともに歩み続けている今日である。

一瞬にして不幸のどん底に落ち過酷な人生を歩まなければならない人々には希望が湧き今後の人生に幸せが甦ればと願い、また、震災には遭遇したが被害の少なかった人にも、又、これからも起こり得ると予測される地域での自然災害を最小限に食い止めその防止を図るためにも、この「人と防災未来センター」から発信する情報及び災害研究等が今後対策の一助となり、地球上の全人類の平和な社会が築かれる事を願いたい。



山崎断層を知っていますか？

断層に沿って高速道路
が走っている！

山崎断層とは、岡山県と鳥取県の間に位置する那岐山の北側から岡山県大原町辺りを通り、兵庫県に入り、山崎町・安富町・夢前町・福崎町・加西市・小野市・三木市へ延びる活断層です。この山崎断層帯が動くと、内陸における直下型地震として最大震度7が予測されることから、現在注目されている活断層の一つです。



山崎断層地域では、活断層に沿って「断層破碎帯」とよばれる軟弱で、侵食されやすい岩石が分布しています。それによって長く直線的な谷ができた地形を利用して、現在の中国自動車道がつけられたのです。

山崎断層で起きた最近の地震

- ・ 1961年5月7日 瑠璃寺地震 (M5.9)
- ・ 1973年9月21日 山崎北部地震 (M5.1)
- ・ 1984年5月30日 兵庫県南西部地震 (M5.6)
- ・ 1990年9月29日 上月地震 (M5.2)

山崎断層帯で、マグニチュード5級の地震は、10～15年程度の周期で繰り返し起こっているようです。

参考文献：「山崎断層 その地震と災害」 寺脇弘光 神戸新聞総合出版センター



特集① 消火栓

いつも歩いている道路の足元をちょっとだけ見て見ると、兵庫県には様々なデザインの消火栓があることが分かります。では、消火栓の役割をみんなは知っていますか？

消火栓とは、火災が発生した時に、消防隊が消火活動を行うために使用する消防水利(水源)です。



プール、河川、池、海、井戸なども水利です。街中では、近くにこういった水源が少ないため、消火栓や防火水そうがありますが、消火栓の上や防火水そう等の取水部に違法駐車があれば、消火活動に支障をきたす恐れがありますので消火栓付近での違法駐車は絶対にやめましょう！

きみの家の周りの消火栓は
どんな形をしてるかな？

チェックしてみよう！

防災三二知識

